

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

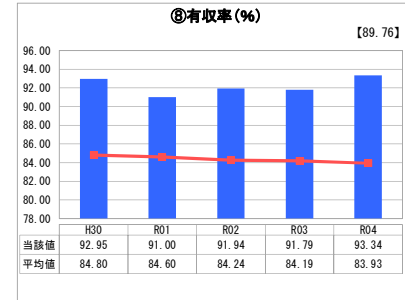
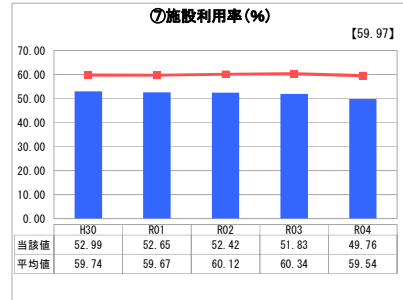
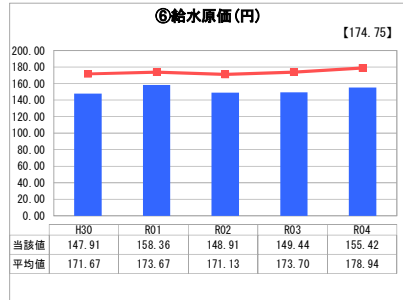
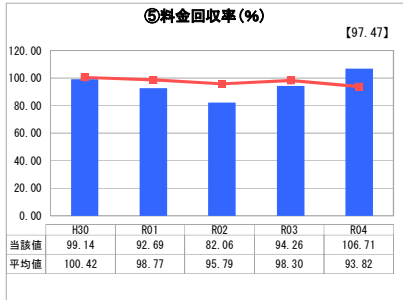
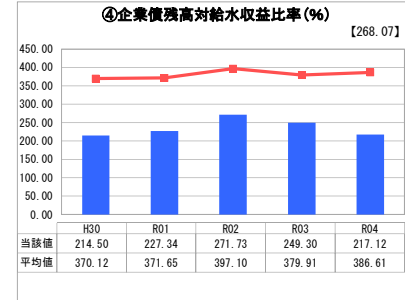
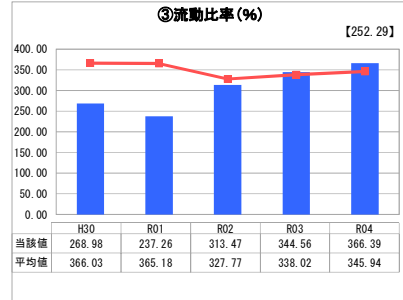
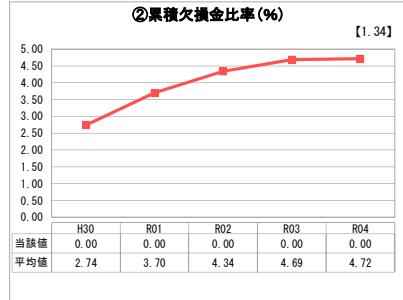
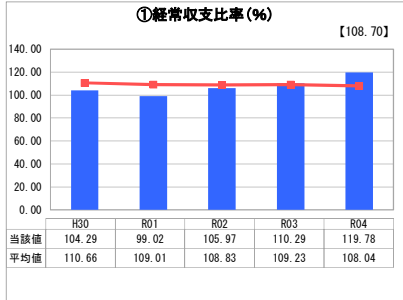
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	80.77	99.86	2,593	

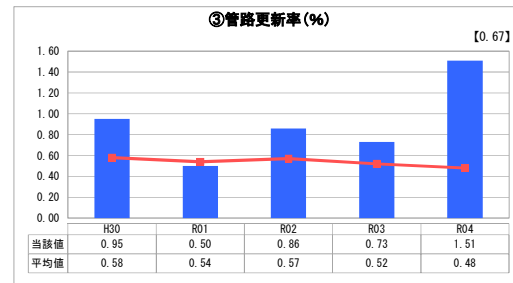
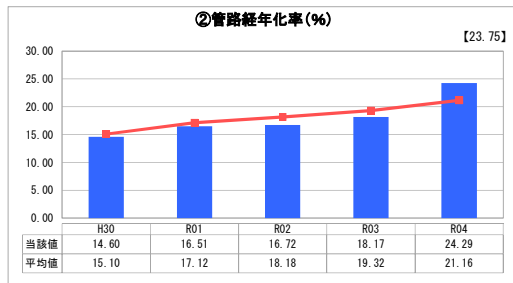
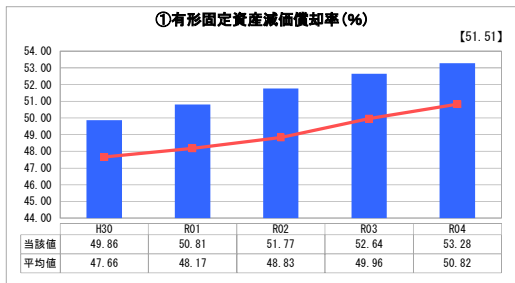
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,616	34.07	957.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,380	24.20	1,338.02

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
100%を超えており、また前年より上昇している。単年度収支が黒字であることを示している。
- ②流動比率  
類似団体の平均を超えており、100%も大きく超えているが、今後の給水収益の減少を踏まえ、引き続き経営努力が必要である。
- ④企業債残高対給水収益比率  
料金改定の影響もあり、比率は低くなっている。今後も適正な借入を検討していく必要がある。
- ⑤料金回収率  
料金改定に伴い、料金収入が増加したため、類似団体平均値及び100%を上回る改善状況が見られる。
- ⑥給水原価  
類似団体平均より低く抑えられているが、前年度より上昇しているため、投資の効率化や維持管理費の削減に努める必要がある。
- ⑦施設利用率  
施設利用率が50%を下回ってしまった。今後の水需要を踏まえて施設のダウンサイジングの検討が必要である。
- ⑧有収率  
前年度より上昇し、類似団体平均も上回っている。今後もこの水準を維持できるように努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
年々増加傾向にあり、類似団体平均も上回っている。施設・管路などの老朽化が進んでいることが見て取れる。今後計画的な更新を必要とする。
- ②管路経年化率  
前年度までとくらべて、大幅に上昇し、類似団体平均も上回っている。耐用年数に達し、更新時期を迎えた管路が多いと考えられる。今後積極的な老朽管の更新を実施していく。
- ③管路更新率  
前年度までと比べて大幅に上昇している。しかし、経年化率も上昇しているため、今後も高い更新率を維持していく必要がある。

### 全体総括

経営の健全性については、料金改定の影響もあり改善傾向にあるが、老朽化については年々悪化している状況である。今後人口減少と共に水需要は減少していくことが予想されるので、経営の健全性についても、現状を維持することも難しいと考えられる。将来の水需要に対応したスペックダウンや、施設・管路の長寿命化など効率化を進め、また、事務内容を見直し、統合できることについては、事務の広域化を図ることで更なる合理化を進めていく必要がある。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	1.64	98.71	1,925

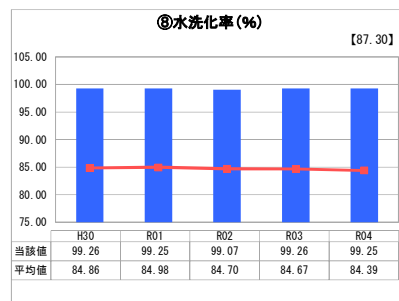
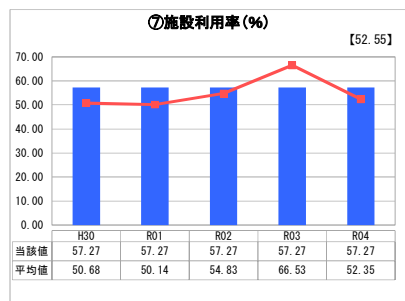
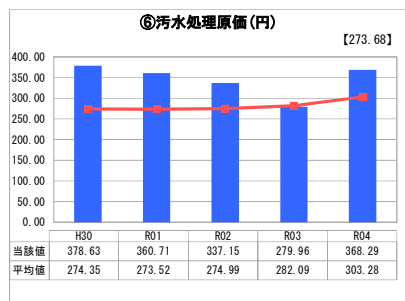
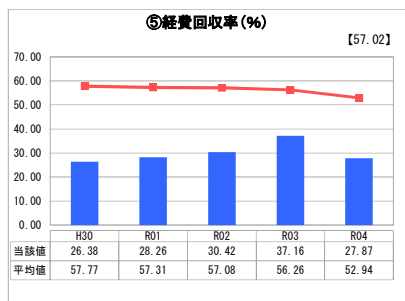
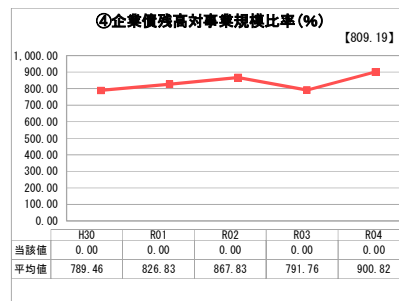
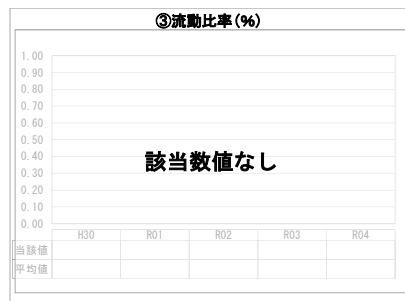
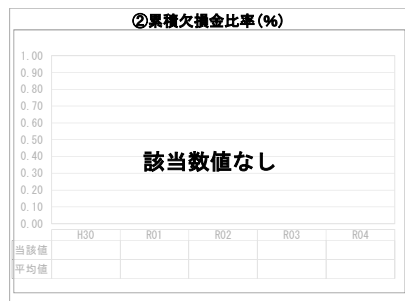
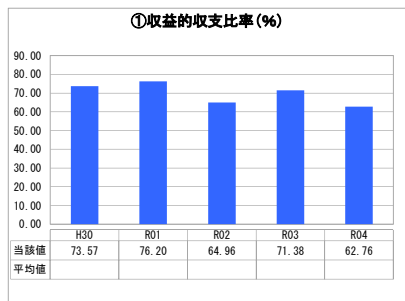
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,616	34.07	957.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
532	0.24	2,216.67

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率・経費回収率  
 ・収益的収支比率は100%未満となっており総収益でまかないきれいであります。また、経費回収率は全国平均より低く、地方償還金や費用不足分は一般会計からの繰入金により賄っている状況です。  
 原因としては、使用量の減少、老朽化による修繕費の増加が大きな要因と考えられます。利用料の改定を検討、修繕の一括発注等による経費削減に努め収益的収支比率及び経費回収率の改善を図ります。

汚水処理原価  
 ・汚水処理原価は全国平均程度となっており、前年度がコロナ禍の部品不足により修繕が行えなかったものを後ろ倒しに令和4年度に修繕したため、汚水処理原価は増加しました。老朽化による応急修繕も発生しており来年度も同程度となる見込みです。

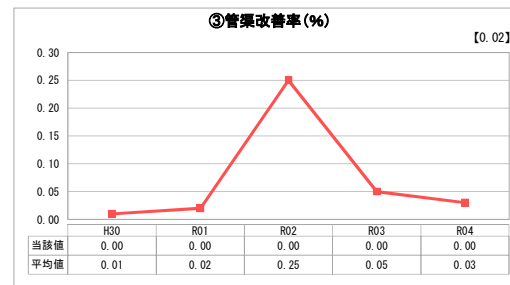
施設利用率  
 ・類似団体平均と比較すると高い数値となっていますが、より高い数値になるよう、将来的な人口減少等を考慮し施設規模の縮小等を検討します。

水洗化率  
 ・水洗化率が99.25%とほぼ100%であるため、公共用水域の水質保全が図られています。今後も啓発等により接続率の向上に努めます。

## 2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上が経過している処理場もあり、機械等の故障や老朽化が進行しています。最適整備構想を元に効率的な更新工事を行うとともに、緊急修繕等にも柔軟に対応できるように修繕を進めてまいります。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

収益的収支比率及び経費回収率が低い数値となっています。これらの改善の為、料金改定をはじめ処理施設の統合や公共下水への接続等抜本的な対策を検討を進め経営状況の改善を図ります。  
 また、管渠・処理場等の点検、最適整備構想や修繕計画の見直しを行い、費用の平準化、費用負担のばらつきをなくすとともに、機器の効率的な維持管理を行うことで、生活環境の維持・向上に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。